

佐久市立天来記念館協議会次第

日 時 令和4年6月2日(木)

午後1時30分～

場 所 駒の里ふれあいセンター

1 開 会

2 あいさつ

3 会議事項

(1) 令和3年度事業報告について

(2) 令和4年度実施予定事業について

(3) 令和5年度実施事業計画について(意見・提案)

(4) その他

4 閉 会

令和3年度 佐久市立天来記念館 事業報告

1 管理運営の状況

- (1) 開館時間 午前9時～午後5時
- (2) 開館日数 294日
- (3) 休館日 毎週月曜日（国民の休日に当たる場合は除く）
国民の休日の翌日（日曜日、土曜日、又は国民の休日に当たる場合は除く）
年末年始 12月29日～1月3日
臨時休館：9月3日～9月12日
（新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館）
- (4) 入館の状況（令和4年3月末現在）
入館者数 500名（前年同期 511名 2.2%減）

2 主な事業

(1) 常設展示

- 常設展示室 比田井天来・小琴の代表的な作品をはじめ、書稿・手本などの常設展示
- 企画展示室 比田井天来・小琴の門流書家の作品を展示
- 映像室 映像による天来の人物像や書作活動などを紹介

(2) 天来記念館書道入門講座

比田井天来の正統な流れを汲む一流の講師の指導により、書道をこれから始めてみたい方など高校生以上の初心者を対象とした書道入門講座

期 間 4月～3月（12回開催）

場 所 駒の里ふれあいセンター

受講申込者数 28名

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

(3) 第十回比田井天来・小琴顕彰佐久全国臨書展

比田井天来が提唱した古典臨書の意味を引き継ぎ「書のまちづくり」を推進し交流人口の創出を図るための全国規模の臨書公募展

期 間 令和3年11月20日（土）～12月12日（日）

場 所 佐久市立近代美術館

出品数 3,557点

展示数 3,233点

入館者数 1,635名

12月11日（水）ギャラリートーク（講師：高橋蒼石先生）

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため表彰式・展覧会のみ実施、ギャラリートーク等中止

【受賞作品数一覧表】

第十回 比田井天来・小琴佐久全国臨書展賞別・部門別集計表													
部門	賞	特 別 賞						特選	秀作	佳作	入選	課題違い	出品数計
		天来賞	小琴賞	市長賞	教育長	書道連	近代美						
一般部	漢字	5		3	3	3	3	22	107	180	157	5	488
	(審査員賞)			1	1	1		6					9
	かな		1	1	1	2	2	4	27	32	38		108
	(審査員賞)							1	2				3
高校生		3	1	3	4	4	4	14	74	88	117	7	319
(審査員賞)		2		1	2			4	3				12
高校生部		団体賞	5校										
部門	賞	特 別 賞					特選	金賞	銀賞	銅賞	入選	選外	出品数計
		天来賞	市長賞	教育長	書道連	近代美							
中学生		3	6	9	9	10	37	110	146	182	218		730
小学生		6	10	11	15	15	97	287	380	513	578		1,912
											総出品数	3,557	

【参考】過去の総出品数 第7回3,317点、第8回3,412点 第9回3,231点

(4) 第12回市内小中学生書き初め展

「現代書道の父 比田井天来」生誕の地として、佐久市内小中学生に周知を図ることを目的に開催

期 間 令和4年1月30日(日)～2月6日(日)

場 所 天来記念館及び駒の里ふれあいセンター

参加校 25校 うち小学校：17校 中学校：8校

出品数 小学生 223点 中学生 70点 合計 293点

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため表彰式は中止、展示会は特選と天来記念館賞のみ天来記念館に展示

入館者数 延べ 127名

(5) 第九回地元高校書道部作品発表会

地元高校書道部の生徒の活躍を地域の方々に知っていただくことを目的に開催

期 間 令和4年2月19日(土)～3月6日(日)

場 所 天来記念館1階

参加校 7校 (岩村田高校、野沢北高校、野沢南高校、小諸高校、佐久平総合技術高校浅間キャンパス・臼田キャンパス、佐久長聖高校)

出品数 24点

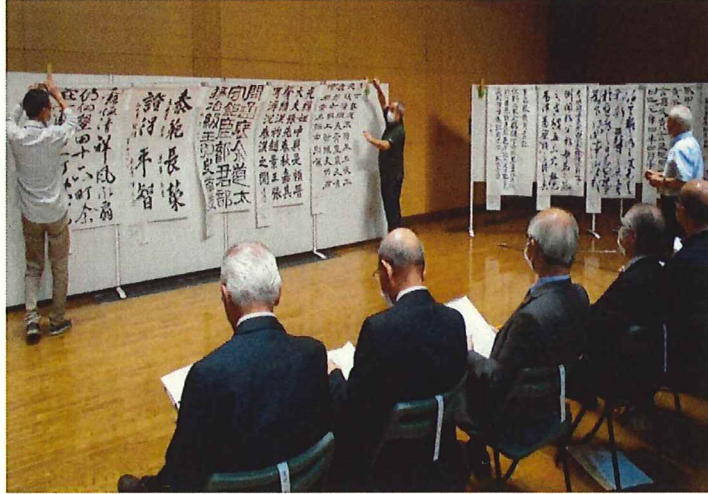
入館者数 延べ 37名

*会期中3月5・6日は「佐久の日」協賛事業として実施

写真でたどる

令和3年度 天来記念館のあゆみ

- 第十回 佐久全国臨書展(駒の里ふれあいセンターでの審査の様子)



- 第12回 天来記念館 書き初め展 審査の様子(駒の里ふれあいセンター)



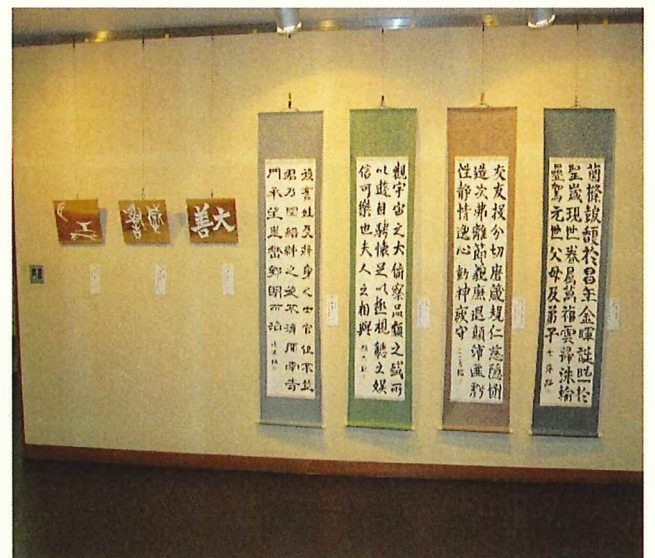
- 第12回 天来記念館 書き初め展 (天来記念館)



●天来記念館賞受賞作品



●第9回 地元高校書道部作品展(天来記念館)



文化振興課

R1～R3年 天來記念館利用状況

(単位：人、円、%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計	
入館者数	R1年度	54	129	73	132	95	132	179	213	76	955	0	2,294	2,909	
	R2年度	0	0	20	64	33	59	41	45	18	44	144	335	511	
	比較R2-R1	△ 54	△ 129	△ 53	△ 68	△ 62	△ 73	△ 138	△ 168	△ 828	△ 58	△ 911	△ 1,959	△ 2,398	
	伸率	△ 100.0	△ 100.0	△ 72.6	△ 51.5	△ 65.3	△ 55.3	△ 77.1	△ 78.9	△ 95.1	△ 76.3	△ 95.4	#DIV/0!	△ 85.4	△ 82.4
	R3年度	60	31	20	40	42	43	66	59	23	19	17	80	264	500
	比較R3-R2	60	31	0	△ 24	9	△ 16	25	14	△ 20	1	△ 27	△ 64	△ 71	△ 11
	伸率	#DIV/0!	#DIV/0!	0.0	△ 37.5	27.3	△ 27.1	61.0	31.1	△ 46.5	5.6	△ 61.4	△ 44.4	△ 21.2	△ 2.2
	R1年度	6,870	11,950	13,200	29,000	15,150	26,100	33,420	8,370	1,350	4,960	5,100	0	53,200	155,470
	R2年度	0	0	3,410	10,660	6,370	14,860	13,120	10,280	8,970	6,010	4,500	3,730	46,610	81,910
	比較R2-R1	△ 6,870	△ 11,950	△ 9,790	△ 18,340	△ 8,780	△ 11,240	△ 20,300	1,910	7,620	1,050	△ 600	3,730	△ 6,590	△ 73,560
伸率	△ 100.0	△ 100.0	△ 74.2	△ 63.2	△ 58.0	△ 43.1	△ 60.7	22.8	564.4	21.2	△ 11.8	#DIV/0!	△ 12.4	△ 47.3	
R3年度	10,160	3,820	5,700	7,600	10,870	4,760	13,170	12,210	4,090	4,040	2,460	6,430	42,400	85,310	
比較R3-R2	10,160	3,820	2,290	△ 3,060	4,500	△ 10,100	50	1,930	△ 4,880	△ 1,970	△ 2,040	2,700	△ 4,210	3,400	
伸率	#DIV/0!	#DIV/0!	67.2	△ 28.7	70.6	△ 68.0	0.4	18.8	△ 54.4	△ 32.8	△ 45.3	72.4	△ 9.0	4.2	
観覧料															

令和4年度 佐久市立天来記念館 実施予定事業

1 常設展示 『比田井天来・小琴の世界』

- (1) 期 日 通年
- (2) 場 所 佐久市立天来記念館（常設展示室・企画展示室・映像室）
- (3) 内 容 比田井天来・小琴の書道業績を、代表的な作品や書稿・書道用具等を展示し、「人・書・活動」を伝える。
DVD（「比田井天来の生涯」「比田井天来を習う」により天来を紹介する。
- (4) 門流書家の作品展示 常時約30点の作品を展示する。
- (5) 書籍販売 来館者へのサービスとして、天来記念館収蔵品図録、比田井天来作品集や臨書展図録などを販売する。

2 主な事業

- (1) 天来記念館書道入門講座
比田井天来の正当な流れを汲む一流の講師の指導により、書道をこれから始めてみたい方など高校生以上の初心者を対象とした講座を実施。
*期 間 4月～3月（年12回）毎月第2土曜日
詳細計画は別紙のとおり
- (2) タイムカプセル2022年 忘れられないことば色紙展
12年前（2011年）に「忘れられないことば」を色紙に書き応募された作品276点を2020年（令和2年）に展示する予定であったが新型コロナウイルス感染症防止対策のため令和3年度も開催を延期した。
今年度は新型コロナウイルス感染状況を見ながら開催する。
*期 間 令和4年8月18日（木）～8月24日（水）
*場 所 駒の里ふれあいセンター
- (3) 第十一回比田井天来・小琴顕彰 佐久全国臨書展
比田井天来が提唱した古典臨書の意味を引き継ぎ「書のまちづくり」を推進し交流人口の創出を図るための全国規模の臨書公募展。
*期 間 令和4年11月19日（土）～12月11日（日）
*場 所 佐久市立近代美術館
*作品締切 令和4年9月7日（水）
- (4) 第13回佐久市内小中学生書き初め展
佐久市が「現代書道の父・比田井天来」生誕の地であることを佐久市内小

中学生に周知され、書道文化の進展を目的に開催。

*期 間 令和5年1月28日(土)～2月5日(日)

*場 所 天来記念館及び望月支所

(5) 第10回地元高校書道部作品発表会

地元高校書道部の活躍を地域の方々に知っていただくために開催。

*期 間 令和5年2月18日(土)～3月5日(日)

*場 所 天来記念館

*対象校 岩村田高校、野沢北高校、野沢南高校、蓼科高校、佐久平総合技術高校、小諸高校、佐久長聖高校ほか (予定)

*「佐久の日」関連イベントとしても実施予定

第1回(平成25年度)	15点	望月高校
第2回(平成26年度)	22点	望月高校、野沢南高校
第3回(平成27年度)	28点	望月高校、野沢南高校、小諸高校
第4回(平成28年度)	40点	望月高校、野沢北高校、野沢南高校 蓼科高校、小諸高校 佐久平総合技術高校
第5回(平成29年度)	56点	望月高校、野沢北高校、野沢南高校 小諸高校、岩村田高校、蓼科高校 佐久平総合技術高校
第6回(平成30年度)	37点	望月高校、野沢北高校、野沢南高校 小諸高校、岩村田高校、佐久平総合技術 高校
第7回(令和元年度)	21点	望月高校、野沢北高校、小諸高校、 岩村田高校、蓼科高校、 佐久平総合技術高校
第8回(令和2年度)	34点	野沢北高校、野沢南高校、小諸高校、岩 村田高校、蓼科高校、佐久平総合技術高 校浅間・臼田キャンパス、佐久長聖高校
第9回(令和3年度)	24点	野沢北高校、野沢南高校、岩村田高校、 小諸高校、佐久平総合技術高校浅間・臼 田キャンパス、佐久長聖高校

(6) 「臨書にチャレンジ」コーナーの設置

比田井天来先生が推奨した古典を知り「臨書」を体験することにより、書道
をより身近なものとして生活の中に普及することを目的に開設。

*場 所 天来記念館1階

*月末の土・日に開設 6/25・26 7/30・31 2/25・26 3/25・26

(館長による体験指導あり)

*「佐久の日」関連イベントとしても実施予定

3 その他

*館内燻蒸 6/27 (月) ~7/5 (火)

【別紙】

令和4年度 書道入門講座日程表

期 日		テーマ	講師	内容
4/9(土)	駒の里 ふれあいセンター	書道をはじめよう	山本秦鼎	用具の扱い方、筆の持ち方から始めて、書を書くための基礎を学びます。初心者でも安心して楽しく始められます。
5/14(土)	駒の里 ふれあいセンター	楷書で書く①	山本秦鼎	楷書の基本点画をマスターしましょう。半紙に二字、筆の角度や筆毛のはたらきについてわかり易く解説します。
6/18(土)	駒の里 ふれあいセンター	楷書で書く②	桑原呂翁	楷書の基本点画を確認しましょう。動きのコツを習得するためには、繰り返し練習することが大切です。
7/23(土)	駒の里 ふれあいセンター	行書で書く①	桑原呂翁	行書は個性を表現しやすく、暮らしの中で最も役に立つ書体です。行書独特の筆遣いのポイントを伝授します。
8/6(土)	望月商工会館	行書で書く②	山本秦鼎	行書の基本的な技法を学ぶと、筆の動きがスムーズになります。リズムに乗った筆の動かし方について説明します。
9/10(土)	駒の里 ふれあいセンター	ひらがなを書く	山本秦鼎	書を書くためには「漢字」も「かな」も大切です。字源をたどりながら現代文を書くためのかなを学びます。
10/8(土)	駒の里 ふれあいセンター	楷書・行書で書く	桑原呂翁	楷書や行書にはいろいろな書きぶりがあります。多彩な表現技法を知り、ここまでの学習成果を確認しましょう。
11/12(土)	天来記念館	書の作品鑑賞	桑原呂翁	他人の作品を見ることは、書を学ぶ上でとても大切なことです。書の上達には欠かせない、鑑賞のコツをお教えします。
12/10(土)	駒の里 ふれあいセンター	筆で書く年賀状	山本秦鼎	手書きの年賀状には温もりがあります。来年の年賀状は活字ではなく、自分の文字で心を伝えてみませんか。
1/14(土)	望月商工会館	漢字仮名交じりの書	山本秦鼎	古典的な漢詩や和歌などではなく、自分の好きなことばを現代文で書くための基礎を学習します。
2/11(土)	駒の里 ふれあいセンター	草書に挑戦	桑原呂翁	難しいそうで、最初から敬遠してしまう草書。くずし方のルールがわかれば意外と簡単です。初心者のための草書入門。
3/11(土)	駒の里 ふれあいセンター	贈る書	桑原呂翁	色紙は贈り物に最適です。ここで一年間の学習の成果を発揮してみましょ。将来へのステップでもあります。

※今後のコロナウイルスの状況を見る中で、開催の可否を講師と協議のうえ判断いたします。